

平成30年度「全国学力・学習状況調査」の結果 —分析から見てきた成果・課題と今後の取組について—

区 名	阿倍野区
学 校 名	大阪市立常盤小学校
学校長名	三島公德

文部科学省による「全国学力・学習状況調査」について、平成30年4月17日（火）に、6年生を対象として、「教科（国語・算数・理科）に関する調査」と「児童質問紙調査」を実施いたしました。

大阪市教育委員会では、保護者や地域の皆様等に説明責任を果たすとともに、より一層教育に関心をお持ちいただき、教育活動にご協力いただくため、各学校が調査結果や調査結果から明らかになった現状等について公表するものとしています。

本校でも、調査結果の分析を行い、これまでの成果や今後取り組むべき課題について明らかにしてまいりましたので、本市教育委員会の方針に則り公表いたします。

なお、本調査により測定できるのは、学力の特定の一部であり、学校における教育活動の一側面に過ぎません。

1 調査の目的

- (1) 義務教育の機会均等とその水準向上の観点から、児童の学力や学習状況を継続的に把握・分析し、教育施策の成果と課題を検証し、その改善を図る。
- (2) 学校における児童への教育指導の充実や学習状況の改善等に役立てる。
- (3) 以上のような取組を通じて、教育に関する継続的な検証改善サイクルを確立する。

2 調査内容

- (1) 教科に関する調査（国語、算数、理科）
 - ・主として「知識」に関する問題（A問題）
 - ・主として「活用」に関する問題（B問題）
 - ※理科については、主として「知識」に関する問題と、主として「活用」に関する問題を一体的に出題
- (2) 質問紙調査
 - ・児童に対する調査
 - ・学校に対する調査

3 調査の対象

- ・国・公・私立学校の小学校第6学年の原則として全児童
- ・常盤小学校では、第6学年 189名

平成30年度「全国学力・学習状況調査」結果の概要

- 国語A、国語B、算数A、算数B、理科の各テストの平均正答率は以下の通りとなった。括弧内は全国平均・大阪市平均との差。
 国語A：74ポイント（+3.3ポイント、+8.0ポイント）
 国語B：59ポイント（+4.3ポイント、+8.0ポイント）
 算数A：73ポイント（+9.5ポイント、+11.0ポイント）
 算数B：59ポイント（+7.5ポイント、+10.0ポイント）
 理科：64ポイント（+3.7ポイント、+9.0ポイント）
- 平均無回答率は、国語Aで2.3ポイント、国語Bで3.1ポイント、算数Aで0.5ポイント、算数Bで5.1ポイントとなり、いずれも全国平均および大阪市平均より良好な値であった。
- 各テストの正答率別児童分布は、正答率8割以上の分布状況は全国平均を上回っているものの、正答率2～3割にも全国平均と同等の分布が見られるなど、学力の二極化現象が見られる。

分析から見えてきた成果・課題

教科に関する調査より

〔国語〕

領域「書くこと」について見ると、国語Aでは全国平均を1.7ポイント上回ってはいるが、その経年変化を見ると平成28年度および平成29年度は全国平均を下回り、かつ平成29年度には全国平均との差が拡大した。国語Bでは全国平均を3.4ポイント上回っているが、平成28年度から平成30年度にかけて全国平均との差は縮まってきている。また、問題形式別では記述式問題の平均回答率は全国平均を上回っているが、全国平均との差の経年変化を見ると平成28年度から平成30年度にかけて、+7.7、+7.5、+2.9となり、今年度落ち込みが見られる。このことから、書くことについての学びに課題があると考えられる。

領域「読むこと」について見ると、国語Aにおける全国平均との差は平成28年度から平成30年度にかけて、+0.1、+7.3、+3.4と振れ幅が大きい。このことから、児童一人一人に確実に読みの力をつける学習指導を実施していく必要があると考える。

〔算数〕

算数Aの平均正答率の全国平均との差は、平成28年度から平成30年度にかけて、+4.4、+4.4、+9.5となり、今年度伸びを示している。算数Bの平均正答率の全国平均との差も、+4.7、+7.1、+7.5となり一昨年より安定した伸びを示している。

領域別では「数と計算」領域の問題の平均正答率は全国平均との差を年々上積みできており、順調な伸びを示している。一方、「図形」の問題・「数量関係」の問題では、平均正答率は常に全国平均より上位にあるが、その差は年度により大きな差があり、安定していない。指導方法や教材の見直しを図っていく必要があると考える。

〔理科〕

「知識」に関する問題の平均正答率は76.0ポイントであり、全国平均より2.0ポイントとなった。「活用」に関する問題の平均正答率は61.0ポイントであり、全国平均より+4.8となった。知識理解の定着を図っていく必要がある。

質問紙調査より

- ・「自分にはよいところがあると思いますか」の質問に対して、「当てはまる」「どちらかといえば、当てはまる」を合わせた肯定的な回答をしている児童の割合は88.0ポイントとなり（平成28年度：78.6ポイント、平成29年度：82.4ポイント）ここ数年、本校の課題であった自尊感情の育成については順調に進んでいる。
- ・「学校の授業以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、勉強をしますか（学習塾で勉強している時間や家庭教師に教わっている時間も含む）」の質問に対して、「3時間以上」と回答している児童の割合は全国平均・大阪市平均の2倍以上の値となっている一方で、「30分より少ない」「全くしない」と回答している児童の割合については全国平均と同程度の値となっている。また、「学校の授業時間以外に、普段（月曜日から金曜日）、1日あたりどれくらいの時間、読書をしますか（教科書や参考書、漫画や雑誌は除く）」の質問に対して「全くしない」と回答している児童の割合は、27.7ポイントであり、全国平均よりも9.0ポイント高い値となっている。このことから、学習の習慣化についても、習慣化しているしていないの二極化現象を見ることができると考えられる。

今後の取組(アクションプラン)

○主体的・対話的で深い学びの推進

児童自らが課題を見出し、自ら進んで解決策を考えたり友達と学び合う中で解決策を見出したりする学習を通じて、知識を活用して課題に対応したり生活に生かしたりする姿勢を育む学びを展開していく。そのために、各教科や課題に応じた授業展開ができるように授業の充実を図っていく。

○習熟度別少人数指導のより効果的な実施

学習内容の理解度に応じた授業コースを設定した習熟度別授業を重点的に実施していきます。児童一人一人の学習状況を分析し、また児童一人一人の思いも取り入れながらコース選択を行い、基礎基本の定着や応用力・活用力の伸長を図っていく。

○読書習慣の育成

学校図書館の全日開館、朝の読み聞かせ活動、朝の読書活動、読み聞かせ活動、読書週間の取組等を通じて読書に親しむ姿勢を育てていく。今後、「読書マラソン」などを取り入れ月間の目標読書量を決めて読書活動を進めていく。

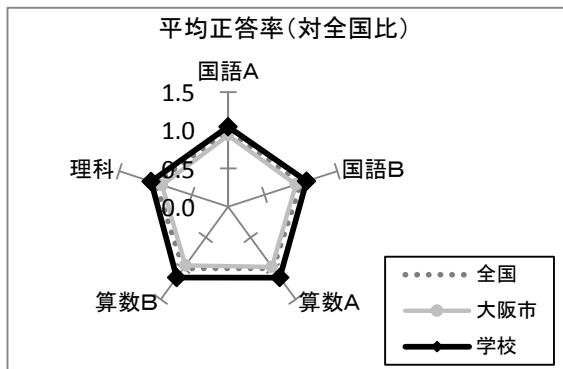
○学習習慣の育成

従来の復習を主とした内容の宿題に加えて、「自主学习ノート」の活用を進め、学校での学習のまとめをする学習、自ら見出した課題を追求する学習、反復学習などを自ら行うことで主体的に学びに向かう姿勢を養っていく。

【 全体の概要 】

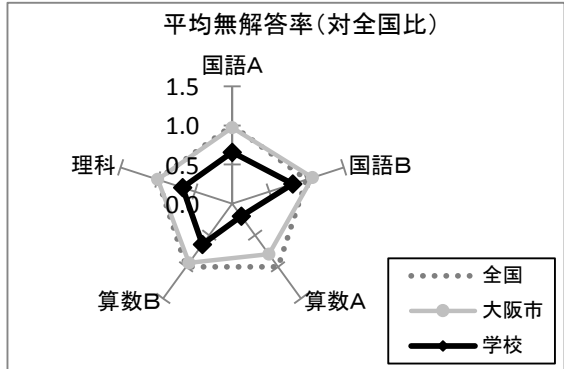
平均正答率（％）

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	74	59	73	59	64
大阪市	66	51	62	49	55
全国	70.7	54.7	63.5	51.5	60.3



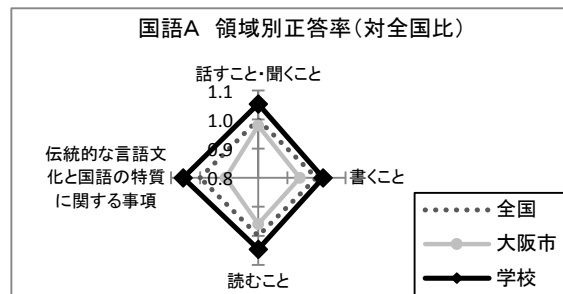
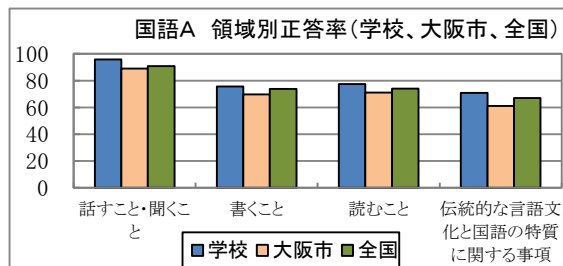
平均無解答率（％）

	国語A	国語B	算数A	算数B	理科
学校	2.3	3.1	0.5	5.1	0.8
大阪市	3.4	4.1	2.0	7.4	1.2
全国	3.5	3.8	2.5	7.9	1.2

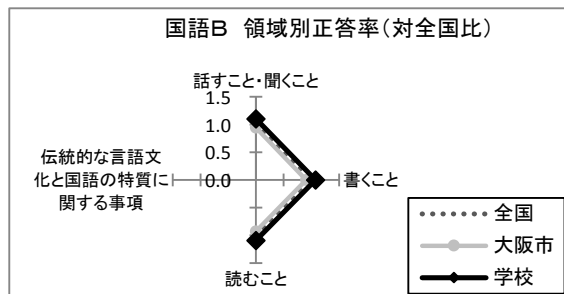
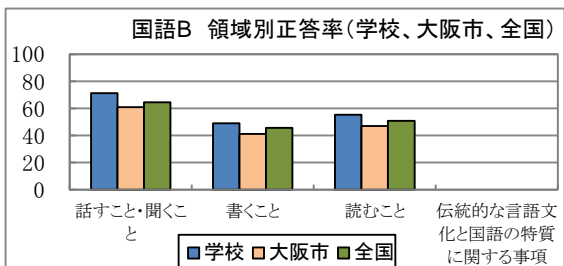


【 国 語 】

A 問 題		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指 導要領 の 領域等	話すこと・聞くこと	1	95.7	88.9	90.8
	書くこと	1	75.5	69.6	73.8
	読むこと	2	77.4	71.0	74.0
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	8	70.9	61.1	67.0

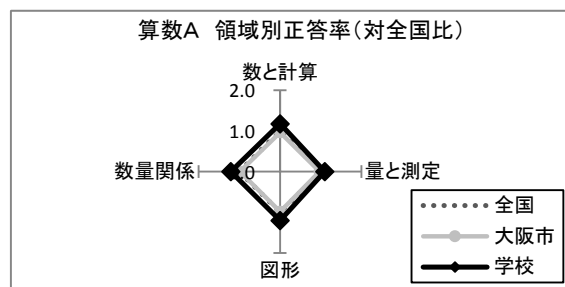
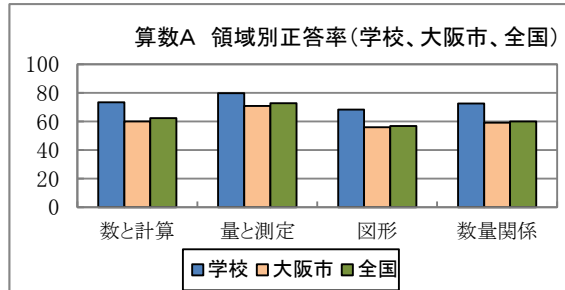


B 問 題		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指 導要領 の 領域等	話すこと・聞くこと	3	71.2	60.9	64.6
	書くこと	5	49.0	41.3	45.6
	読むこと	2	55.4	47.1	50.8
	伝統的な言語文化と国語の特質に関する事項	0	—	—	—

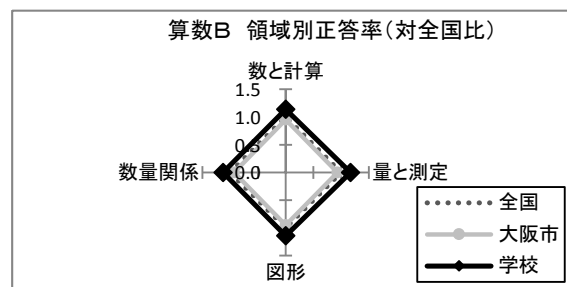
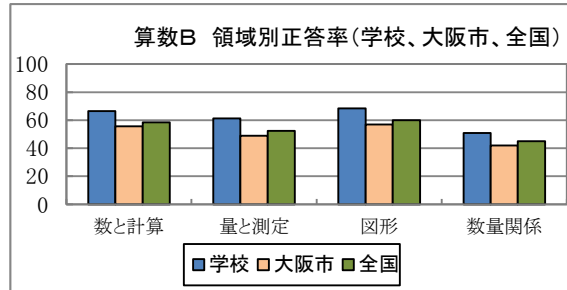


【 算 数 】

A 問 題		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指 導要領 の 領域等	数と計算	5	73.4	60.0	62.3
	量と測定	4	79.9	70.9	72.7
	図形	3	68.3	56.0	56.9
	数量関係	5	72.6	59.2	60.1

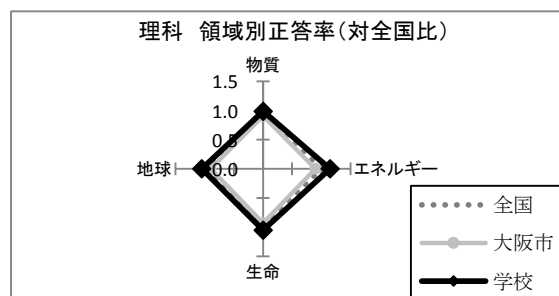
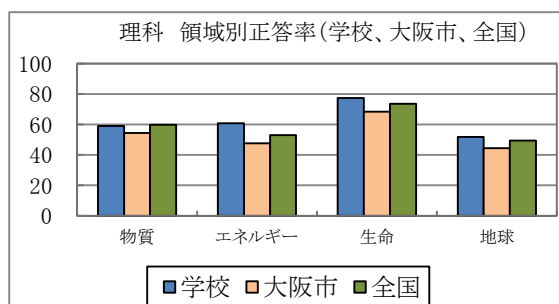


B 問 題		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
学習指 導要領 の 領域等	数と計算	6	66.4	55.6	58.4
	量と測定	4	61.3	49.0	52.4
	図形	2	68.5	57.0	59.9
	数量関係	5	50.9	41.9	45.1



【 理 科 】

学習指導要領の領域等		対象設問 数(問)	平均正答率(%)		
			学校	大阪市	全国
A区分	物質	4	59.1	54.4	59.8
	エネルギー	4	60.9	47.7	53.1
B区分	生命	4	77.3	68.4	73.6
	地球	6	51.9	44.4	49.5



児童質問紙より

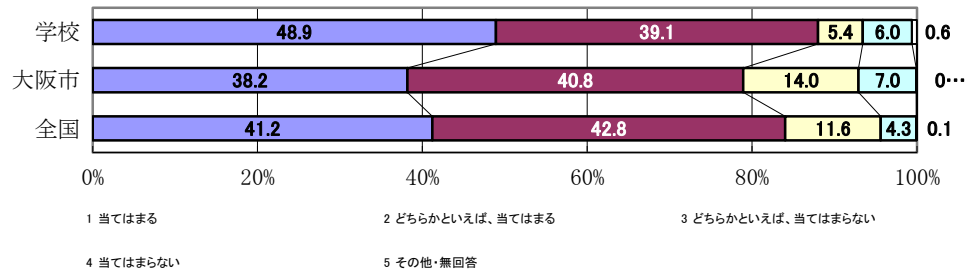
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

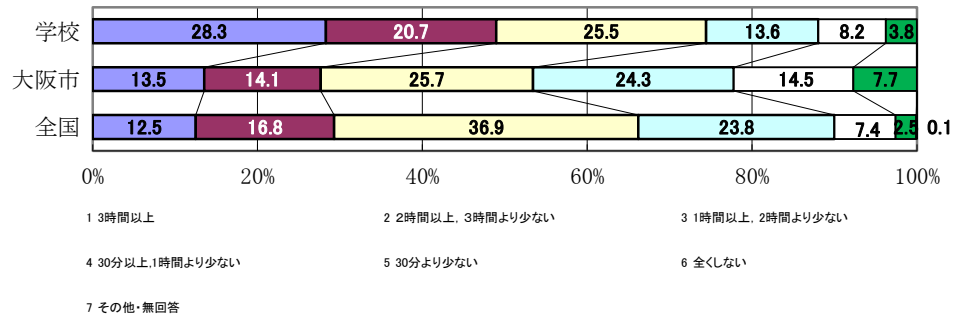
1

自分には、よいところがある
と思いますか



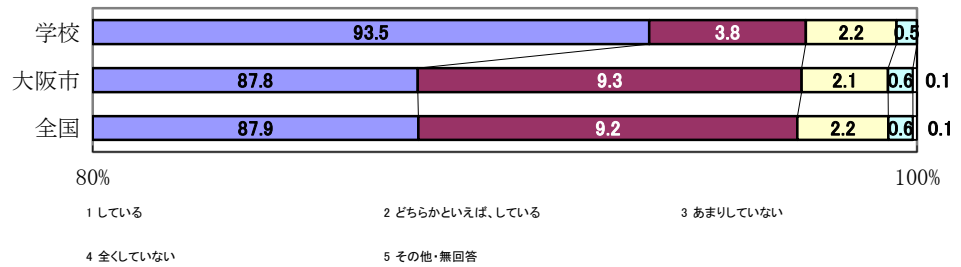
14

学校の授業時間以外に、
普段(月曜日から金曜日)、
1日当たりどれくらいの時
間、勉強をしますか(学習
塾で勉強している時間や家
庭教師に教わっている時間
も含む)



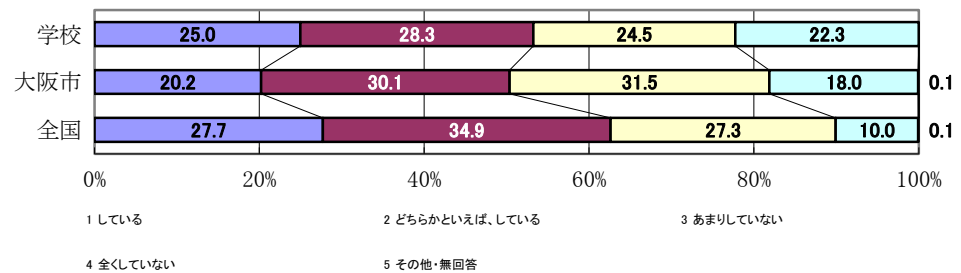
11

家で、学校の宿題をしてい
ますか



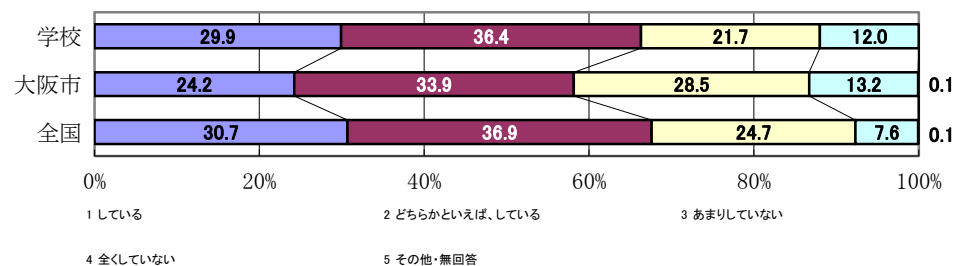
12

家で、学校の授業の予習・
復習をしていますか



10

家で、自分で計画を立てて
勉強をしていますか



児童質問紙より

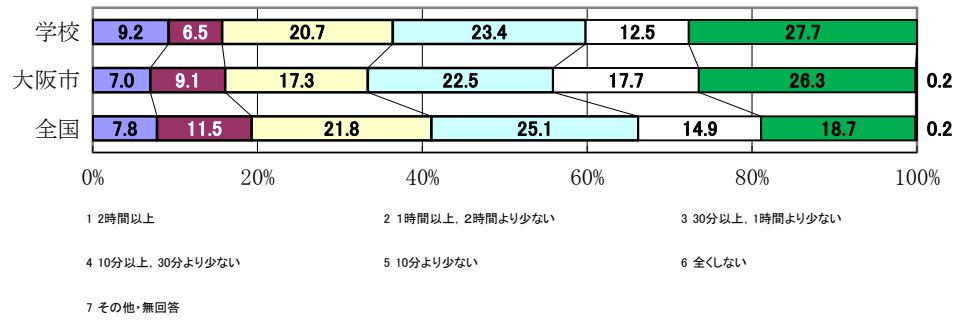
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

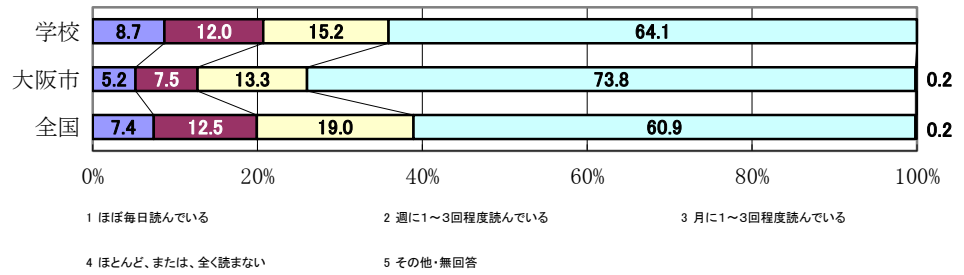
15

学校の授業時間以外に、
普段(月曜日から金曜日)、
1日当たりどれくらいの時
間、読書を読みますか(教科
書や参考書、漫画や雑誌
は除く)



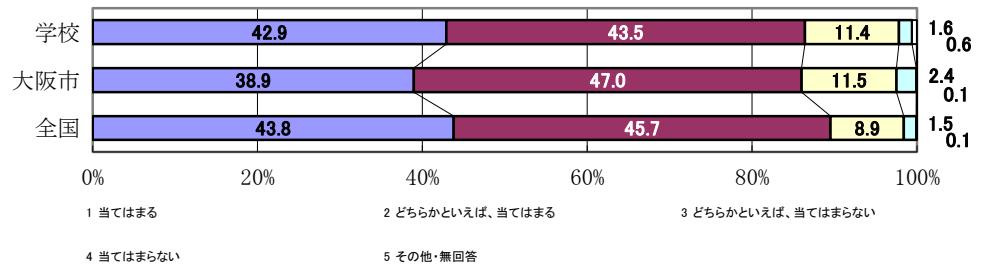
25

新聞を読んでいますか



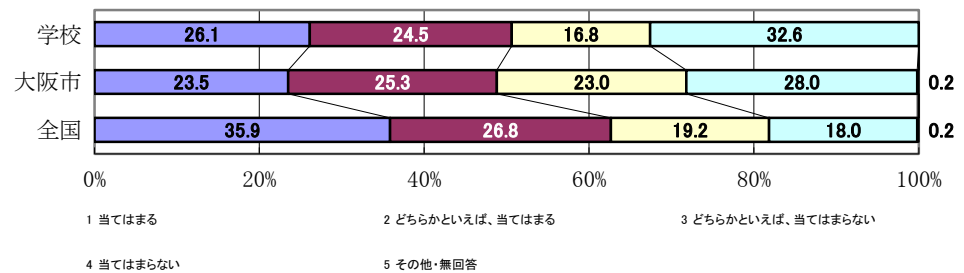
4

学校のきまりを守っていま
すか



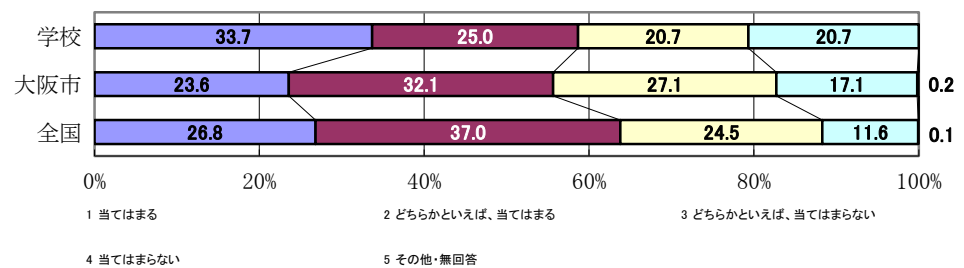
20

今住んでいる地域の行事
に参加していますか



21

地域や社会で起こっている
問題や出来事に関心があり
ますか



児童質問紙より

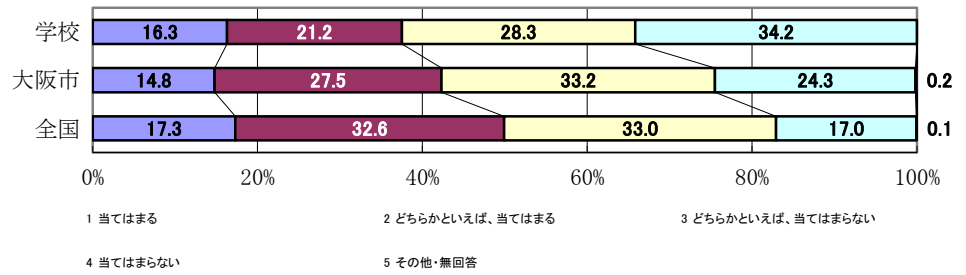
1 2 3 4 5 6 7 8

質問番号

質問事項

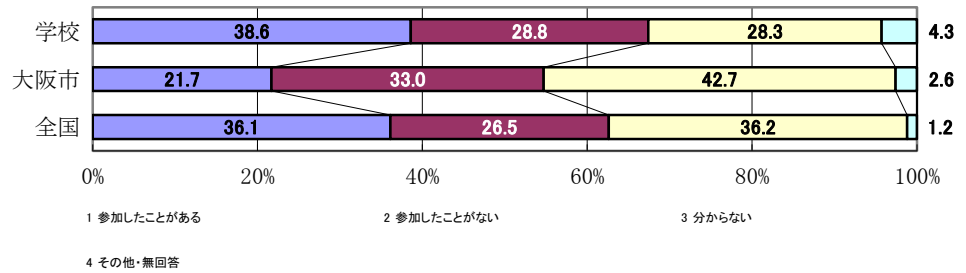
22

地域や社会をよくするために何をすべきかを考えることがありますか



23

地域社会などでボランティア活動に参加したことがありますか



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

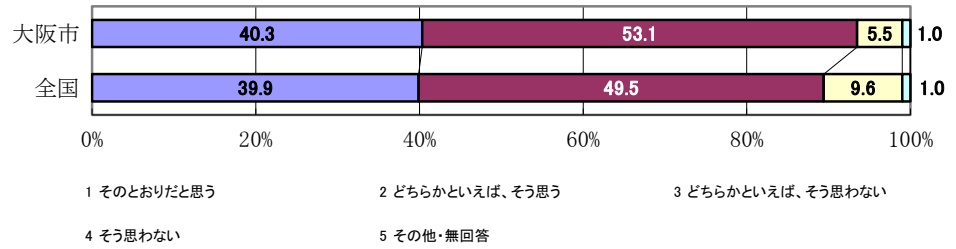
質問番号

質問事項

12

調査対象学年の児童は、授業中の私語が少なく、落ち着いていると思いますか

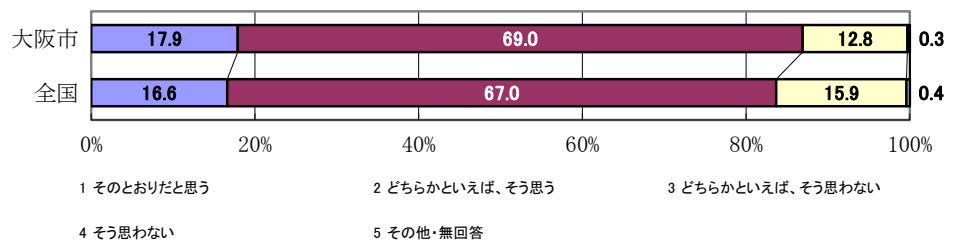
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



13

調査対象学年の児童は、授業では、課題の解決に向けて、自分で考え、自分から取り組むことができていますか

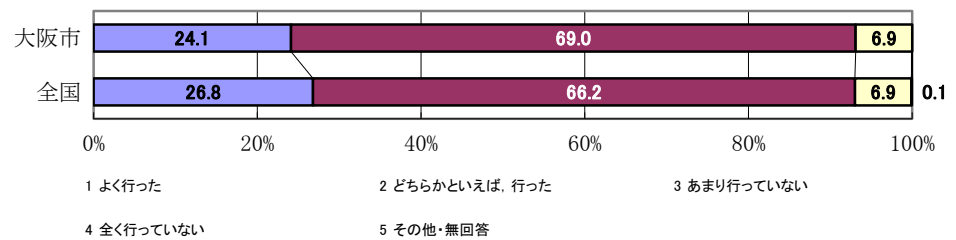
学校 「どちらかといえば、そう思う」を選択



22

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、習得・活用及び探究の学習過程を見通した指導方法の改善及び工夫をしましたか

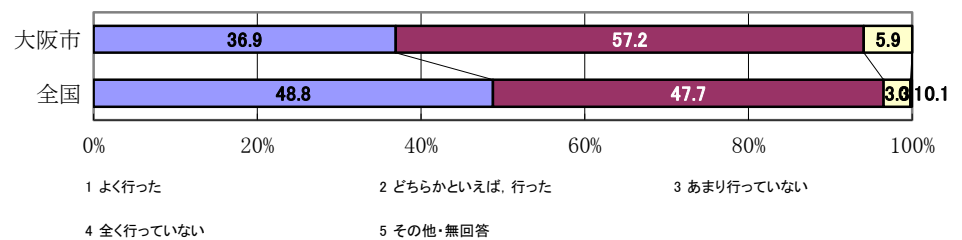
学校 「よく行った」を選択



24

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、学級全員で取り組んだり挑戦したりする課題やテーマを与えましたか

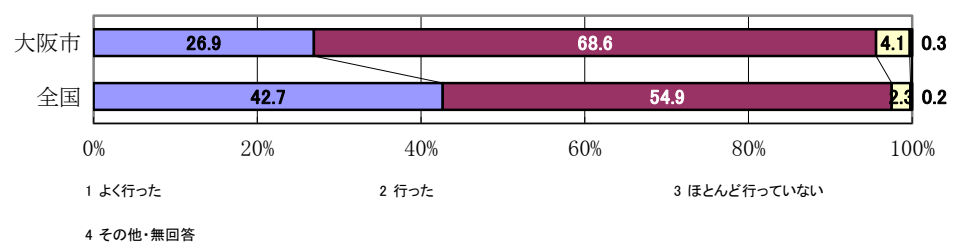
学校 「よく行った」を選択



31

平成29年度全国学力・学習状況調査の自校の分析結果について、調査対象学年・教科だけではなく、学校全体で教育活動を改善するために活用しましたか

学校 「よく行った」を選択



学校質問紙より

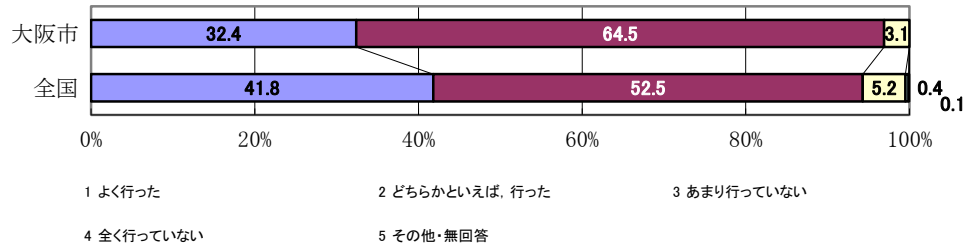
質問番号

質問事項

37

調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか

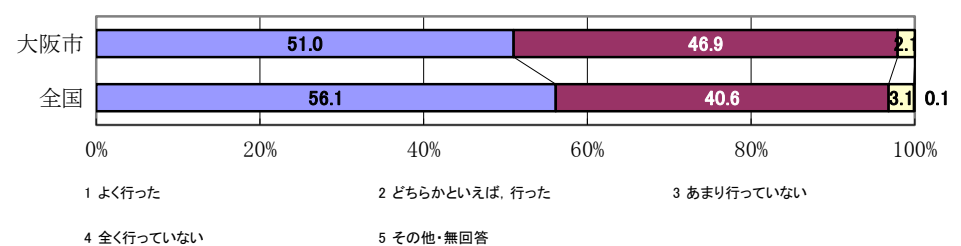
学校 「よく行った」を選択



40

調査対象学年の児童に対する算数の指導として、前年度までに、計算問題などの反復練習をする授業を行いましたか

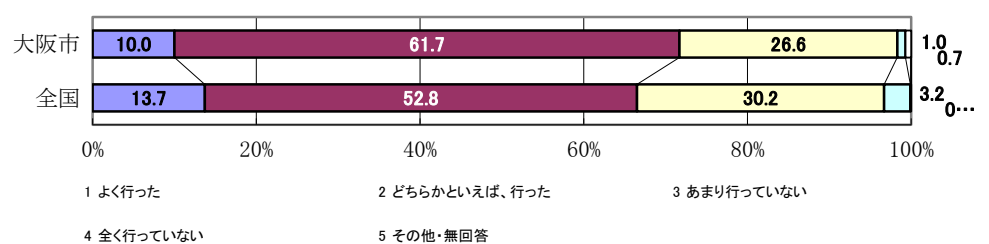
学校 「よく行った」を選択



43

調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、補充的な学習の指導を行いましたか

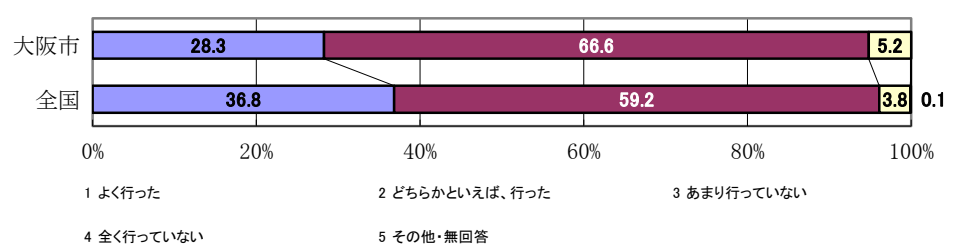
学校 「よく行った」を選択



48

調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験の結果を整理し考察する指導を行いましたか

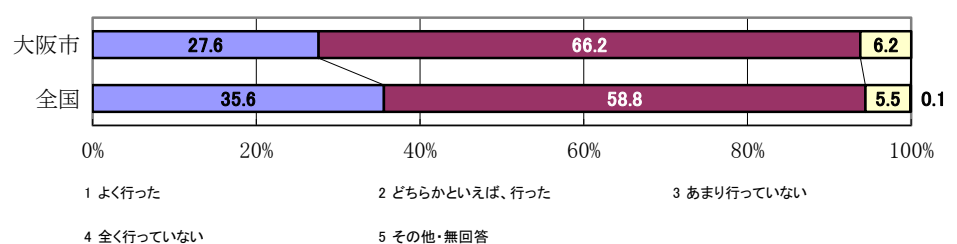
学校 「よく行った」を選択



49

調査対象学年の児童に対する理科の指導として、前年度までに、観察や実験におけるカードやノートへの記録・記述の方法に関する指導を行いましたか

学校 「よく行った」を選択



学校質問紙より

1 2 3 4 5 6 7 8

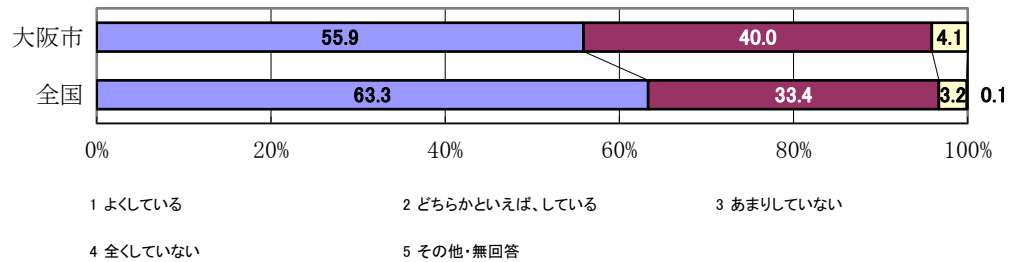
質問番号

質問事項

74

模擬授業や事例研究など、実践的な研修を行っていますか

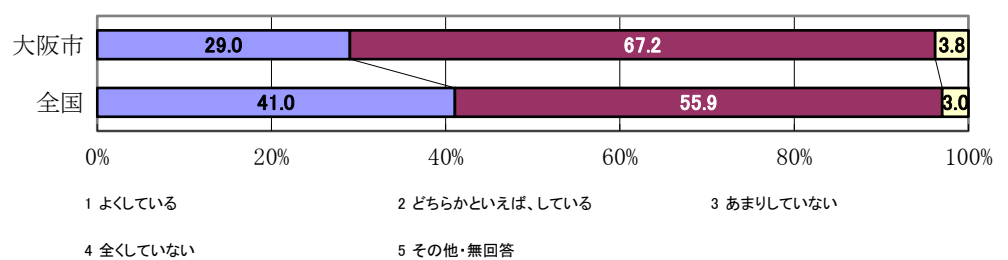
学校「よくしている」を選択



78

教職員は、校内外の研修や研究会に参加し、その成果を教育活動に積極的に反映させていますか

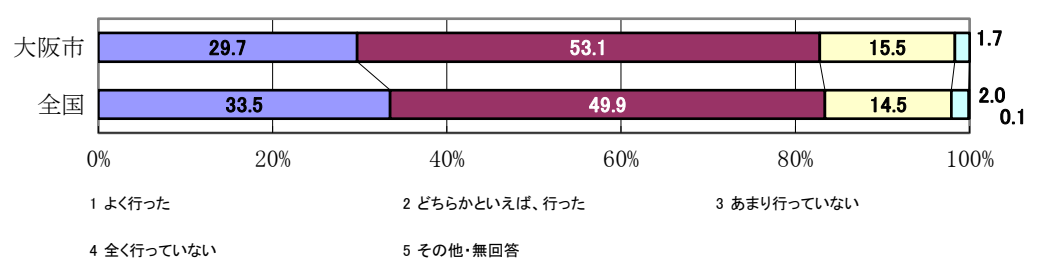
学校「よくしている」を選択



53

調査対象学年の児童に対して、前年度までに、地域の人材を外部講師として招聘した授業を行いましたか

学校「どちらかといえば、行った」を選択



60

保護者や地域の人が学校の美化、登下校の見守り、学習・部活動支援、放課後支援、学校行事の運営などの活動に参加していますか

学校「よく参加している」を選択

